

**11/18 災害時における相互応援に関する協定を締結しました!**

11月18日(月)に稲美町役場で、熊本県益城町の西村町長と古谷町長が「災害時における相互応援に関する協定」の締結を行いました。益城町は、平成28年4月に発生した熊本大地震で大きな被害を受け、当町からも避難所運営や家屋被害調査に職員の派遣を行うなど交流を深める中で、協定を締結することとなりました。震災を経験された益城町と協定を結ぶことで、平時から防災知識の共有や情報交換を行うとともに相互の町が被災した場合、食糧や飲料水などの供給、復旧活動に必要な物資や機材の提供、職員の派遣などを行っていきます。稲美町が県外の自治体と単独で協定を締結するのは、今回が初めてです。



▲ 協定を締結しました

**11/19 加古小学校の2年生がバスに乗って社会科見学**

11月19日(火)、加古小学校の2年生が社会科見学として、神姫バス株式会社の加古川営業所へ行きました。実際にバスに乗って、運賃の支払いや降車ボタンを押す体験をしたほか、優先席の使い方などを学びました。また、バスを洗う様子も見学させていただき、初めて見る大きな洗車機にみんな歓声をあげていました。この社会科見学は「公共交通を守る」授業の一環として実施されており、町では、このような路線バスを用いた小学校等の授業に対して交通費の一部を補助する取り組みを実施しています。バスの乗り方だけでなく、普段見ることのできない路線バスの裏側を見学することで路線バスを身近に感じてもらい、新しく利用者を確保することで将来にわたって公共交通を守ることを目指しています。一人ひとりがバスを利用することで公共交通を守っていきましょう。



▲ 社会科見学の様子

**11/20 安全な自転車利用のお手本に! 6人がサイクルマスターに委嘱されました**

11月20日(水)に加古川警察署で「加古川シルバーサイクルマスター」の委嘱式が行われ、稲美町からは吉田保さん、松尾國昭さん、井口彰さん、山田立美さんの4人が委嘱されました。サイクルマスターは小中学校の交通安全教室に参加し、自転車の運転技術や交通マナーを指導します。この日、サイクルマスターの皆さんは瀬尾加古川警察署長から委嘱状を受け取り、「子どもたちと接して元気がもらえる」「体の動く限りがんばります」と楽しく話されていました。



▲ 委嘱式の様子

**11/23 「いなみ(173) de Wedding」を開催しました**

11月23日(土・祝)、加古大池管理棟で「いなみ(173) de Wedding」を開催しました。稲美町にゆかりのあるカップルに、「いなみ(173)」にちなんで、17,300円で結婚式を挙げてもらう企画で、稲美町と連携協定を結んでいる兵庫大学の学生の皆さんがプロデュースしてくれました。当日は気持ちの良い秋晴れの下での開催となり、参加者全員で新郎新婦の新たな門出を祝いました。



▲ 華舟と記念撮影

**11/24 天満南小学校区で防災訓練を実施**

11月24日(日)、天満南小学校で天満南小学校区防災訓練が実施されました。当日は、校区の8自治会から約100人が参加し、防災委員会が主体となりシェイクアウト訓練や段ボールベッド設置、炊き出し訓練などが行われました。また、昨年度宝くじ助成で購入した資機材のお披露目も行われました。



▲ 炊き出しの様子

**11/5 ウメトク株式会社から寄附をいただきました**



▲ 目録を受領しました

11月5日(火)、ウメトク株式会社から稲美町へ10万円の寄附の申出があり、目録を受領しました。寄附の受領にあたり、ウメトク株式会社の福嶋佐登司常務理事は、「稲美町内の学校等の図書の充実を図るため役立ててください」と話され、松尾教育長が感謝の言葉を述べました。ウメトク株式会社からはこれまでも長年にわたり教育に関する寄附をいただいております。学校図書等の充実に寄与いただきありがとうございます。

**11/12 100歳おめでとうございます**

100歳を迎えられた小山美榮子さん(北山)を11月12日(火)に古谷町長が訪問し、ご長寿をお祝いしました。小山さんはお祝い品を受け取ると「ありがとうございます」と丁寧にあいさつをされました。好きな食べ物をお聞きすると、「特に嫌いなものはありません」と笑顔でおっしゃいました。100歳の秘訣は「くよくよせず何でも食べること」「友達と会話を楽しむこと」と教えてくださいました。「淡路島で生まれ、明石の女学校まで毎日船で通っていました」と懐かしそうに話されました。これからもお元気でいてください。おめでとうございます。



▲ 町長から花束を受け取られた小山さん

**11/15 修学旅行で民泊した宮崎県の受け入れ団体が稲美北中学校を訪問**

11月15日(金)、宮崎県の「北きりしま田舎物語推進協議会」の皆さんが稲美北中学校を訪問しました。同協議会には6月に3年生の修学旅行の民泊を受け入れていただきました(今回で7回目)。今年は初めて生徒たちと田植えの体験をし、その田植え体験から収穫したお米を生徒たちに食べてもらおうと今回26人の受け入れ農家の皆さんが訪問されました。受け入れ農家の皆さんは久しぶりの再会に「元気だった?」と声をかけたり、握手をしたりして生徒たちの元気な様子にとっても喜ばれていました。生徒たちも自分たちで植えたお米を「甘くて美味しい」と笑顔で食べ、最近の学校生活や修学旅行の思い出話をして賑やかに給食を食べていました。



▲ 自分たちで植えたお米を美味しくいただきました

**11/17 第3回船江恒平六段杯稲美野将棋大会が開催されました**



▲ 将棋大会の様子

11月17日(日)、稲美野将棋倶楽部主催の第3回船江恒平六段杯稲美野将棋大会が稲美町立コミュニティセンターで開催されました。稲美野将棋倶楽部は、週1回ふれあい交流館で将棋の腕を磨いています。この大会は、日頃の腕前の披露と近隣市町との地域間交流を目的に2年前から加古川在住のプロ棋士船江恒平六段を審判長に迎えて開催しています。地元、稲美町はもとより東播磨、兵庫県下、遠くは大阪、岡山、鳥取、香川から6~77歳の老若男女138人に参加していただき、将棋を通じて地域間、世代間交流ができました。